

令和 8 年
2月8日執行

衆議院小選挙区選出議員選挙選挙公報

栃木県第 4 区

栃木県選挙管理委員会



“3つの柱と9の政策”

ひとりひとりが日本

今、我が国は危機的な状況に直面しています。30年に渡る景気低迷。苦しくなる一方の国民生活。世界では紛争が続き、食料自給率の低下、エネルギー問題、少子化や移民問題など、国の存亡に関わる課題は手つかずのまま。明るい未来が見えない社会情勢の中で、子供たちは受験戦争にもがき苦しみ、家族観や結婚観という日本人らしいアイデンティティーは破壊されようとしています。この状況を解決するには、日本人のひとりひとりが立ち上がるしかありません。政治家やテレビや新聞に任せるのではなく、ひとりひとりが日本そのものであると自覚し、考え行動する時がきたのです。「ひとりひとりが日本」未来を変えるのはあなたの覚悟と想いです。日本はまだ間に合う。



参政党
野口 ともこ
のぐち

昭和 55 年 2 月 18 日生 (45 歳)

1 日本人を豊かにする の柱 ～経済・産業・移民～

- 1 “集めて配る”より、まず **減税**
減税と社会保険料の削減により、国民負担率を35%に抑え、積極財政による経済成長で国民の豊かさが持続的に高まる経済構造を実現します。
- 2 日本はまだ間に合う **“NO! 移民国家”**
労働力不足の解決を、安易な移民依存に委ねません。適正な人口計画を立て、外国人労働者の受入れと外国人の土地取得を制限します。
- 3 **現場の人**が支える日本
製造業、建設業、運送業、医療介護福祉や警察・消防・自衛官等、現場で汗をかく方々の待遇を改善し、安心して働ける社会をつくります。

2 日本人を守り抜く の柱 ～食と健康・一次産業・エネルギー～

- 4 **食**は人の天なり
食を守ることは国家の安全保障そのものです。食の安全を向上させ、食料自給率を高め、国民が決して飢えることのない体制を整えます。
- 5 エネルギーと資源確保が **生命線**
諸外国も見直しを進めている脱炭素政策を再構築します。再エネ賦課金を廃止し、安く、安全で安定したエネルギーを国内で確保します。
- 6 **安心医療**で **健康国家**
過剰な医療や非効率な仕組みは見直しつつ、予防を重視した体制へ転換し、子どもから高齢者まで、すべての人の健康と安心を支えていきます。

3 日本人を育む の柱 ～教育・人づくり・国家観～

- 7 子ども一人につき **月10万円**
0～15歳の子ども一人につき月10万円の教育給付金を支給し、若者が子供を授かり育てたいと思える環境をつくります。
- 8 **受験戦争**からの解放
偏差値重視の教育から脱却し、ひとりひとりの個性、強みが正当に評価される教育へと転換します。健全な人格を育む場にします。
- 9 **日本はみんなの家**
日本の国力が衰える中で、国際情勢も緊迫してきました。「ひとりひとりが日本」という意識改革を起こし、日本の豊かさと平和を守ります。

比例は **参政党** とお書きください。

参政党の政策は ▶
こちらの特設サイトから！



野口ともこプロフィール 大田原市出身、獨協大学外国語学部卒業。2児の母。子育てをしながら宅建士として不動産業に従事してきた。利権や保身で変わらない時代遅れの政治を変えるため、「投票したい政党がないから自分たちでゼロからつくる」がスローガンの「参政党」から立候補。



比例代表も自民党へ

まっすぐ前へ日本列島を、強く豊かに。

GO! FORWARD!

- 略歴
- 1993年 真岡小学校 卒業
 - 1996年 真岡東中学校 卒業
 - 1999年 真岡高校 卒業(小・中・高と野球部に所属)
 - 2003年 拓殖大学政治経済学部 卒業
 - 2003年 衆議院議員 渡辺 喜美 秘書
 - 2006年 衆議院議員 佐藤 勉 秘書
 - 2009年 国家公安委員会委員長並びに、内閣府特命担当大臣秘書官
 - 2010年 総務大臣秘書官
 - 2015年 衆議院議員佐藤 勉 政策担当秘書
 - 2019年 栃木県議会議員 初当選
 - 2023年 栃木県議会議員 再選(2期)

- 真岡消防団(第1分団・第2部)所属
- (一社)真岡青年会議所第50代理事長
- 真岡高校野球部OB会副会長
- 真岡ボーイズ顧問
- 硬式野球倶楽部コットンウェイ部長
- 真岡小学校PTA会長

家族構成

父と妻、娘2人(10歳・7歳)、犬4匹と暮らしています



自由民主党
石坂 まさる
いしざか

昭和 55 年 12 月 23 日生 (45 歳)

働く意欲の持てる日本へ

●将来に渡り国民に食料を安定的に供給することは国の責務です。食料安全保障の強化のため、土地改良事業などを通じた大区域化の推進や、スマート農業の実用化への環境整備を進め、労働負担の軽減と生産性向上を図ります。

●中小企業や小規模事業者の設備投資や人材確保、賃上げへの取組をマッチングの伴走支援や生産性向上・省力化支援、価格転嫁・取引の適正化で全力支援し「稼ぐ力」を強化します。

●労働時間規制については、経済成長にも資する柔軟で多様な働き方の実現に向け、働きたいという意欲も尊重することを前提とした制度の再構築を進めます。

世界に誇れる「治安の再構築」

●「闇バイト」、特殊詐欺、SNS型投資・ロマンス詐欺、オンラインカジノ等による資金獲得活動への対策を徹底するとともに、国民の生命・財産と日常生活を脅かす匿名流動型犯罪グループに対し、戦略的な実態解明と取締りを強化します。

●治安課題に対処する警察官等の処遇改善や人材確保・育成の強化、AIなどの先端科学技術を活用した治安活動の高度化など治安関係の基盤を強化します。●通訳体制の拡充や不法滞在者への厳正な対応により外国人犯罪を抑止するとともに、地域社会と連携し防犯体制を強化します。

みんなの負担を軽減

●飲食料品は2年間に限り消費税の対象としないことや社会保険料等の負担を見直すなど、「給付付き税額控除」の制度設計等を進め、物価高騰対策や柔軟な対策を推進します。

●標準的な出産費用の自己負担の無償化など、妊娠・出産に伴う経済的な負担軽減や、様々な子育てニーズに対応するため、小学生の預かり機能強化や、放課後児童クラブの良・質の拡充を進め、出産から子育てまで、切れ目のないことも子育て支援を強化します。

●給食費の無償化や高校の「授業料無償化」を機に新たな財政支援を構築し、幼児期からの教育の質向上改革を進めます。

将来に向けた責任ある令和の制度構築

●財政の持続可能性を確保しながら、「大胆な投資」により、力強い経済の成長につなげ、税収の増加を通じて、さらなる投資を可能とする「投資と成長の好循環」を生み出していきます。

●衆議院議員の定数削減や、選挙制度の改正も含めた議論を進め、身を切る改革と、多様な意見を反映できる制度構築を進めます。

●自衛隊の明記、緊急事態対応、合区解消、地方公共団体、教育の充実の4項目を中心とした、憲法改正の実現に向けて「国民への丁寧な説明」を積極的に展開します。



未来をつくる
あなたの一票大切に

投票期間
1月28日(水)～2月8日(日)
衆議院議員総選挙
最高裁判所裁判官国民審査
期日前投票:1月28日(水)～2月7日(土)
当日投票:2月8日(日)

明るい選挙キャラクター 選挙のめいすいくん